

今号の主な内容

- 3面:市大府大 統合後の構想明らか
- 6面:【特集】漂流キャンパス
さまよう学生の意識
- 10面:【サッカー】阪南大 ベスト4で涙
- 11面:【アメフト】関学 甲子園ボウル連覇



携帯HP

神戸大学ニュースネット

NEWS NET

©神戸大学ニュースネット委員会 http://home.kobe-u.com/top/newsnet/ 関西学生報道連盟共同編集室=〒532-0011 大阪市淀川区西中島4-2-24ダイニビル4階 電話06-6307-1315 FAX06-6829-6353 メール info@unn-news.com

12面【震災特集】

学生×震災×遺族 HANDS×「ほっ」とな灯り ~世代を越えた対談~ 遺族の声・学生の想い

1月号

阪神・淡路大震災18年 東日本に生かす経験



心の距離も近くなる足湯ボランティア(2012年9月8日・岩手県山田町で 撮影=鈴木太郎)

東日本大震災から一年半以上が経つ、さまざまな人々によってボランティアが進められている。中には阪神・淡路大震災に関わった人たちもおり、その活動では震災にまつわる経験が生かされていた。

を寄付してきた。しかし、現地を訪れるなど深く関わっていく内に「何かできれば」と、昨年4月に「広島と福島を結ぶ会」という団体を設立した。

その活動で加藤さんが重視したのは、顔の見えない交流。寄付していた謝礼を、現地の高校生に奨学金として送ることもしてきたが、それは「本来望むところではなかった」と話す。

「この活動を続けて、辛い状況から出発する方法を伝えていきたい。思いを伝える会にしたい」としている。



最優秀選手に選ばれた弓山。チーム全員で掴んだ勝利となった(1月3日・東京ドームで 撮影=松永さとみ)

第18回女子タッチフットボール日本選手権さくらボウルが3日、東京ドームで行われ、学生代表の神戸大ROOKSが社会人代表の阪神フイオッツを21-6で下し、2年ぶり4度目の日本一を決めた。

第1Q開始3分、神戸大

2年ぶり日本一

タッチフットROOKS

の先制TDを決めたのはQ2弓山(発達・4年)からWR山崎(発達・4年)へ行われ、学生代表の神戸大ROOKSが社会人代表の阪神フイオッツを21-6で下し、2年ぶり4度目の日本一を決めた。

第1Q開始3分、神戸大

第21回東西大学女子
タッチフットボール王座決定戦

0	第1Q	6	
7	第2Q	7	武庫川女大
21	第3Q	0	19
7	第4Q	6	

第18回さくらボウル

7	第1Q	6	
7	第2Q	0	ライオッツ
21	第3Q	0	6
7	第4Q	0	

大学での新生活に!
就活にグ〜んと有利!

朝日新聞

未来を創る大学生のあなたへ
大学生応援価格の登場です。

朝日新聞月々購読料 (通常価格)3,925円

↓
大学生応援価格
2,500円

※大学生応援価格2,500円は、1ヶ月の購読料(税込)です。ひとり暮らしの大学生限定です。1年以上のご購読契約で、口座振替または、クレジット払いが条件となります。

お問い合わせ・お申し込み

ASA 神戸なだ

神戸市灘区土山町 1-13
☎ 078(851)5678
✉ info@asa-kobenada.com

く、みんなに役者を味わわせてあげたい、との思いからダブルキャストの実行を決意した。「スケジュールが今までで最もきつかった」と佐藤さん(経済・3年)は話す。時間の確保に苦労した様子が見えなかった。この劇団がダブルキャストの通連続公演を行った。自由劇場がダブルキャストを行った理由は部員の多さ。芝居ができない人も多

く、みんなに役者を味わわせてあげたい、との思いからダブルキャストの実行を決意した。「スケジュールが今までで最もきつかった」と佐藤さん(経済・3年)は話す。時間の確保に苦労した様子が見えなかった。この劇団がダブルキャストの通連続公演を行った。自由劇場がダブルキャストを行った理由は部員の多さ。芝居ができない人も多

スマイル vol.14

1月3日、タッチフット日本一の座に返り咲いたROOKS。阿部千尋さん(医・1年)はその中でただ1人のマネージャーとして、チームを陰から支える。入学当初、体育会系ならマネージャーとして入ることを考えていた阿部さん。新歓で知ったROOKSの雰囲気を持ち、高校の先輩にあたる主将の谷川有美さん(発達・3年)との縁もあり入部を決めた。周りから「癒し」と言われるほど落ち着いた印象の阿部さんだが、審判や水汲みなどマネージャー業を1人でこなすしっかり者だ。「教えられることが多いから、もっとみんなにいろいろ言って教えていけるようになりたい」。阿部さんがこれからROOKSの中でどのように存在を大きくしていくのか注目だ。【板東未弥】

日本一を支えた唯一のマネージャー



阿部千尋さん(医・1年)

役に立つという。「2年で撤退するボランティアが多い。どう継続していくか3年目以降が正念場。復興に関しては浸水した場所が多く、住宅の再建がスタートラインにも立っていない。「津波など、状況が全然違う」と復興の難しさをつかかかわせる。

そんな中、昨年6月からは阪神・淡路大震災でも行った「聞き取りボランティア」を始めた。「語り継ぐ」とは重要で、東日本でもその思いは途切れないようにしたい」と今後を見据えている。【香月隆彰】

震災関連記事

大学と学生
未来の震災への備えは 5面へ

塚本研究室「ツカラボキン」 4面へ
in 神戸ルミナリエ

厳しい復興の道
今後の継続課題
藤室玲治さん

藤室玲治さんはキャリアセンターのボランティア支援部門コーディネーターとして東日本大震災に携わっている。現在の主な活動は東北ボランティアバス。これまでに計11回、のべ400人以上の学生が足湯ボランティアや街灯を設置するなどの活動を行ってきた。

阪神・淡路大震災を経験し、当時の様子も目にした藤室さん。少し先を見据える際に、ある程度は経験が

役に立つという。「2年で撤退するボランティアが多い。どう継続していくか3年目以降が正念場。復興に関しては浸水した場所が多く、住宅の再建がスタートラインにも立っていない。「津波など、状況が全然違う」と復興の難しさをつかかかわせる。

そんな中、昨年6月からは阪神・淡路大震災でも行った「聞き取りボランティア」を始めた。「語り継ぐ」とは重要で、東日本でもその思いは途切れないようにしたい」と今後を見据えている。【香月隆彰】

福田秀樹学長

●民間研究員から教授に
1970年に鐘淵化学工業株式会社(現 株式会社力ネカ)に入社。研究員などとして24年間勤め、1994年の4月に工学部教授、同年6月に大学院自然科学研究科教授に就任。

●新組織のトップに
2003年に自然科学研究科長になった後、自然科学系先端融合研究環長を務めるなど、神戸大が新たに力を入れてきた事業、組織の要職として尽力してきた。

学長再任へ 2015年3月まで

神戸大は12月18日、3月末での学長の任期満了に際して行われた学長選考会議において、福田秀樹現学長を次期学長予定者として決定したことを発表した。4月1日に新学長として再任する予定。また2009年4月から学長を務めている福田学長は、国立大学法人神戸大学学長選考規則第17条2「再任された場合の任期は、継続して6年を超えないこと」という規定に基づき、2015年3月での再任も決まっている。【香月隆彰】

伏流水

証券取引法違反の罪で収監されているホリエモンこと堀江貴文氏が今年出所するらしい。彼は当時「想定範囲内」という言葉を繰り返して流行語にまでなった▼自分の思い通りに事が運ぶのはたしかに気持ちがいい。しかし、こと報道の世界となると、予定通りよりもむしろ想定外の出来事こそニュースとして歓迎する▼我々の活動の中でも、新聞の締め切り間際に想定外の大きなニュースが飛び込んでくることかしばしばある。そんなときは入稿作業の予定をすべて変更する必要に迫られ、睡眠時間も返上して取材と編集に取り組み。丸3日間編集室にこもることもザラにあった。大変だ。でも時間と戦ったその高揚感の中でこそ報道をやっている良かったと感じる▼個人的な話だが、この1月号をもって私は引退となる。これまで報道というものに打ち込む大学生活にならうとは想定していなかった。新歓時期の私の一瞬の選択は、結果として私を大きく育ててくれた。そもそも神戸大に入学したときこそ想定外だ。もっと言うと、この自分という人間として生を受けたのも想定外だ▼繰り返す日常は時折の想定外があるから面白。言うまでもなく想定できることは徹底的に準備すべきだ。しかし現実には思い通りにならないことが多い。想定外のことばかりだ。起ったとしても、それもまた運命として受け入れようとする気概を持っていた。3年間の報道を通して得た「想定外」の教訓である。【田中郁孝】